

				部会名	しごと部会
施策No.	1-1-3	施策名	生産基盤の整備	施策主管課	農村林務課
■内部評価について					
①成果指標について	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の項目は、施策の目指す姿に沿っているか。 →沿っている。ただし、該当地区の水田整備が必ずしも単年度で完了するわけではないので、目標値や実績値を単年度ごとに示すことが必要か、という意見があった。 ・目標値の設定は適切か。 →適切である。 ・他に考えられる指標はないか。 →特になし。水田整備率については、「産業としての農業」を考えるとほぼ上限に達しつつある。そこで、今後は、既存の整備水田が新たに改修・改善された割合などの指標が必要となるのではないか。 ・成果指標の達成状況についての的確な分析を行っているか。 →的確な分析を行っている。 				
②施策を構成する事務事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業は相対的に必要十分で過不足のないものになっているか。 →8事業で十分である。 ・目指す姿の実現に貢献している事業か。 →貢献している。 ・市民ニーズや社会情勢の変化により、市の関与の必要性が低下した事業はないか。 →ない。 ・施策の目指す姿を実現するために、さらに成果の向上を図る事業はないか。 →畜産基盤強化事業、畜産競争力強化緊急整備事業はより支援すべきであり、花巻ブランドを作ってほしい。 ・他に考えられる事業はないか。 →中山間地では、条件不利地形であっても付加価値の高い作物を開発し、米ですすでに行われている地産地消のように、市場の開拓も含めた事業を行ってほしい。さらに、何十年も前に整備された水田について、更なる大規模化を進める事業もしてほしい。 				
③施策の総合的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の主な取り組み成果や成果指標の推移、施策を構成する事務事業の検証等を踏まえ、施策の目指す姿を実現するための問題点や課題が明確になっているか。 →課題や方向性は明確になっている。 生産基盤の整備は今後も充実してほしいが、さらに、その生産が安定し、持続するためには、次世代の育成や労働力の確保(特に収穫期の)も必要である。 				
④シート記載内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の取り組み実績や事業内容等、わかりやすい記載内容となっているか。 →特になし。 				